

2022年  
八戸西ロータリークラブ会報

## 国際ロータリー第2830地区

RI会長 ジェニファー・ジョーンズ (カナダ)  
ガバナー 田中 常浩 (むつ RC)

## 第238回例会

日時：2022年9月22日（木）於：八戸プラザホテル 12:30～ ▶司会 村岡徹弥 SAA ▶四つのテスト 小笠原美千代  
 ▶ビジター 田中常浩ガバナー（むつ RC） 藤野芳孝地区幹事長（むつ RC） 久保隆明ガバナー補佐（八戸北 RC）  
 築館智大ガバナーエレクト（八戸 RC） 佐藤健一地区ロータリー財団委員長（青森 RC） 石川佳共子ロータリーの友地区代表委員（青森 RC）

四つのテスト 唱和  
小笠原美千代 会員幹事報告  
畠山徳陽 幹事ニコニコボックス  
竹本洋子 会員

バナー交換

## 会長要件（小林周子 会長）



今日は沢山のビジターの方においで頂きまして本当にありがとうございます。先程までガバナー、ガバナー補佐から大変有意義な意見を聞かせて頂きました。まだまだ経験が浅いクラブですし、私自身も本当に未熟者で、今まで1つの職業しか経験してきませんでしたので、ロータリーに入るとたくさんの仕事を持った方達との接觸があると思い、色々な人生経験を積みたいな、意見を聞いてみたいなという思いでロータリーに入らせて頂いておりました。沢山の交流をもって色々な意見を聞きながら勉強させて頂きたいと思います。今日は色々なお客様をお招きしておりますので、沢山勉強させて頂きたいと思っております。また、むつ RC のガバナー様からお志を頂いておりました。本当に暖かいお気持ち、頂きたいと思います。ありがとうございました。

## 幹事報告（畠山徳陽 幹事）

例会変更等の報告はありません。先程、無事に協議会・会長幹事面談が終わりました。沢山参考になること、勉強になることをお話し頂いたので、これを参考にしてこれから西クラブの運営に活かしていきたいと思います。

## 出席報告（竹本洋子 会員）

会員総数36名 出席者数17名 オンライン出席者数なし 出席率47.2%

## ニコニコボックス（竹本洋子 会員）

藤野 芳孝（むつ RC）：地区幹事長の藤野です。今日は宜しくお願ひします。

小林 周子 会長：今日は田中ガバナーはじめ藤野地区幹事長、久保ガバナー補佐において頂き貴重なご意見を聞くことができありがとうございました。これからもどうぞ宜しくお願ひ致します。

畠山 徳陽 会員：田中ガバナー、藤野地区幹事長、久保ガバナー補佐本日は勉強になりました。ありがとうございました。

工藤威美子 会員：感謝

蛇口 和憲 会員：ようこそ田中ガバナー！本日はありがとうございます

小芝 道子 会員：皆様お久し振りです。時々にお目にかかりますと、気持ちが華やぎます。

島守 理 会員：田中ガバナー、藤野幹事長、久保 AG、築館 G エレクト、ビジターの皆様、本日は遠いところを八戸西ロータリーにお越し頂きありがとうございます。期待に応えられるよう努力したいと思います。

小笠原美千代 会員：今日も素敵なことに出会いますように。

松田 郁子 会員：お久しぶりです。本日も宜しくお願ひします。

村岡 徹弥 会員：田中ガバナーようこそ西 RC へ！！

田沢 英治 会員：「出会いは全て奇跡です」本日の出会いを大事にしましょう！

大島 泰雅 会員：田中ガバナー、藤野様、久保様、本日はお疲れ様でした

杉本 勉 会員：ようやく秋を感じるような今日この頃です。今後もロータリー活動を頑張ります。

新戸部弓子 会員：ガバナーの田中様、地区幹事の藤野様、ガバナー補佐の久保様、本日は西ロータリーへようこそ。宜しくお願ひ致します。

小笠原信子 会員：お米の大好きな私。稔りの秋、無事に収穫できますようにと祈っています。

三浦 健至 会員：秋になりました。秋シーズンに感謝し、仕事・余暇に元気に励みましょう。

竹本 洋子 会員：秋晴れでとても良い日になりました。ガバナー公式訪問お迎えし、最良の日と感じます。

宜しくお願ひ致します。

## ロータリーの友地区代表委員（青森 RC 石川佳共子様）



今年度ロータリーの友の地区代表を務めております石川と申します。所属は青森 RC、今年度会長をしております。皆さまどうぞよろしくお願ひいたします。

ロータリーの友のホームページについて、毎月1日に更新されます。そしてロータリーの友は創刊70周年を迎えます。1953年の1月に創刊されました。周年行事として、俳句のコンテストを行います。来年の2月末まで、全てのロータリーファミリーから募集をします。テーマはロータリーというだけの俳句ですので、ぜひ応募してください。

ロータリーの友は、世界中で約30種類あるそうで、様々なRIの認可を受けて発行されています。RI指定記事というのがあるのですが、これは世界のロータリアン全員が同じ記事を読みましょうという内容になっています。表紙を飾るデザインは、RIがDEI推進に力を入れております為、障がいのある方が描いたアートを採用しようということで今月号も楽しい動物のアートになっております。

ロータリーの友のアーカイブについて、今年の7/1に出来上りました。IDとPWが必要になりますが、本棚にロータリーの友70年分が出てきます。まずは年度初めの7月号です。ジェニファージョーンズ会長は今でも乳がんを患っていますが、抗がん剤で髪が抜けてしまっても、ウィッグをかぶってロータリーの活動に出かけていったとあるように、とても行動的な方です。そして7月号には毎年地区ガバナーの横顔というコーナーがあります。2830地区田中ガバナーの写真もございます。この人訪ねてというコーナーがありますが、こちらは青森RCの例会風景です。八戸西クラブは女性が沢山いるので心強いのですが、青森RCは95名いる中で女性が7名しかいないんですね。なんとか女性も増やして、来年の6月10日に70周年を迎えますので、100名のメンバーでお祝いしたいと思っております。最後に「検索」という機能があり、こちらが大変優れています。八戸西RCと入れて検索をすると、1件ヒットし、2017年3月号に載っています。ピンクのマーカーが引いてあるところが検索にヒットしたところになります。

このように、アーカイブでしっかりと70年の歴史が保存されています。投稿することで、後世にクラブの歴史を刻むことができますので、これからも、クラブの活動を投稿していただきたいと思います。お手伝いできることがあればさせて頂きますので、よろしくお願ひいたします。ありがとうございました。

## 地区ロータリー財団委員長（青森 RC 佐藤健一様）



皆さんからの寄付は大きく、年次基金、恒久基金、その他の目的別基金に分かれます。年次基金は積み立てれば3年後に半分戻ってくるというやり方、恒久基金は、元金を積み立てて、その運用部分でその年その年でお金が戻ってくるということになります。これを足したのがシェアシステムと申しまして、運営費に5%取られたほかの95%を半々に分けます。そのうち地区に来るのがDDF、地区財団活動資金の47.5%、それからWF、国際財団活動資金として使用されるのが47.5%です。地区財団活動資金DDFというのは地区に入りますので、地区がその使い方を決定できるわけになります。その内の更に半分を地区補助金に使います。地区補助金というのは各地域で奉仕活動をする際に使って頂けるというもので、仮に1円も納めていなくても、使うと手を挙げて認められれば使えるというお金になるわけあります。更にグローバル補助事業に使用とありますが、これは比較的大きな事業を地区外のクラブまたは地区と一緒に行うときに連携が出来れば使用することができます。これは3万ドル以上～40万ドル以下と非常に大きな規模でございます。ですから、お金を全部出したうちの23.75%は地区補助金として各クラブに配偶されるということです。是非皆さん申請していただければと思います。

私が今日来たのは、2022-23年度の地区補助金活用事業として、当クラブから手が挙がらなかつたということで心配してきたわけあります。是非、次年度が始まる前までに忘れずに出して頂ければと思います。グローバル補助事業、例えばタイとやりたいとかエチオピアとやりたいとかウクライナとやりたいとかを出しますと、それに応じて認められればお金が下りてくるということになり、その時地区に配偶されたDDF23.75%の他にDDFの8割がWFから来ます。一旦、国際財団活動資金として抑留されたものからくる、そのお金が大体19%くらいに相当します。ですから23.75%を使います、それからグローバル補助金23.75%を使います、そうすると足して47.5%、その他に約20%来ますので、7割弱のお金が皆さんのクラブまたは地区で使えるということになるわけです。但し、グローバル補助事業は分野が決められており、特定7分野で使えるようになっております。地区補助金は皆さん一生懸命やっているので、毎年全部使い切るのですが、グローバル補助金は何に使うか分からぬで終わってしまうと、積み残しになってしまい、5年経つと他の基金へ寄贈しようと言われますので、一生懸命使い道を探して協力してやればと思います。

実際の金額についてですが、年次基金の目標は1人あたり150ドル、ポリオプラスは1人あたり30ドルをお願いしますと言っていると思います。決して強制ではありませんけれども、頑張りましょうということあります。そして、世界中でどのくらい集まっているのかというと、2020-21年度の実績で、年次基金は1億3,940万ドル、恒久基金は約3,260万ドル、ポリオプラスは1億3,320万ドル、その他寄付金で3億5,480万ドル、ということあります。

そしてこれらがどう使われているのかというと、ポリオに40%、グローバル補助事業に34%、地区補助金8%ということです。

グローバル補助事業として実際に2830地区では、タイの小学校の浄水器設置事業や病院施設の設備整備事業などに使っております。また、タイからも少しお金を頂いて、青森県内でのコロナ対策事業などにも使われています。タイの小学校の浄水器設置に関しては十数年にわたってやっております。タイの田舎で飲み水が美味しいといふところに對して小学校に浄水器を設置することによって、地域の人たちにも活用していただくということです。地区補助金による事業としては、子ども食堂の支援としてお弁当をドライブスルーでさしあげたり、遊歩道の寄贈設置、ポリオプラスでは投与のお手伝い等をやっております。

先ほど申し上げましたように、財団事業は概ね3分の2が還元されます。ですから、各クラブ知恵を出して、こういうに使いたいよと言った方がお金を活かしていくことになりますので、ご理解を頂ければと思います。ご清聴ありがとうございました。

## 地区ガバナー（むつRC 田中常浩様）



ロータリーの奉仕活動とは何か、地域社会に良い変化をもたらそうとする、他者を大切にしたいという心をもって行動する、地域社会のニーズに合った効果の長続きするプロジェクトを行っている、世界中にいる仲間との繋がりを使用している、ロータリー財団の資金を活用してプロジェクトを行っている、最後まで責任をもってプロジェクトを完結している、これらがロータリーの奉仕活動ではないかと思っております。ではロータリアンとはどのような人か、ロータリアンは目的を持った行動人であり、中核的価値観を持つ行動人である。では、ロータリークラブとはどんな組織か、世界200以上の国と地域にわたる国際的な組織で、職業倫理を高めるリーダー的存在を目指している人たちの集まりで、国際理解・親善・平和を推進している組織。どんなところか、それは、ジェニファーアーチャーズさんがDEIという言葉を使います。多様性があり、あらゆる背景を持つ人や幅広い文化、経験、アイデンティティの人を歓迎している、誰もが公平に大切にされる場所です。ロータリーはクラブ会員の公平な扱いと機会の均等を保つように努めており、誰もが居心地のいい場所、歓迎されていると感じ、尊重され、会員として大切にされるクラブづくり、これに力を注いでいる、ということで、これがロータリークラブではないのかなと思います。先ほど見たRI会長のメッセージでは、新会員のニーズと期待を理解することに力を注いでください、とありました。クラブに参加したいと願う全ての人が同じくもとと帰属意識を感じられるようにすること、満足度を高めることが大切で、これこそがクラブへの積極的参加を促す最強の手段であると。なぜ入会したのか理解する事から始まり、何を求めているかを知る必要がある、ロータリー会員になることで、地域社会にどのような影響を与えるのか、強いクラブを築くためには会員のニーズと期待を理解することに力を注ぐべきであると。期待が満たされているかどうかを常にチェックし、会員がロータリーの体験からもっと多くのことを得られるように何をしてあげられるか考える必要がある、会員との接点を持つことで私たちが耳を傾け、会員の心地よさと満足度を大切にしていることを知ってもらう、会員がなぜ退会するのか調査するのも大事ですが、退会を決めた後では遅いので早めに調査する。会員や新会員への調査を取り入れて何を求めているかを尋ね、その夢を叶えるお手伝いや行動を起こす、新しい考え方・知識・活力を持つ会員と共に、会員への心地よさと配慮を提供するうえでコミュニケーションが本当に大事である。会員に一連のメッセージを直接お届けすることでロータリーを知ってもらい、退会防止へ繋げる。DEI、多様性・公平性を重んじる、他者を思いやり、同じビジョンを持ち奉仕の心で結ばれる。意見を言える・役割がある・必要な情報を得られる。誰でも迎え入れ仲間になるクラブづくり、これが一番大事ではないかと思います。

そしてこれらを踏まえ、私は地区スローガンと地区目標を決めました。地区スローガンは「ロータリアンの心を繋ぐ」目標は9つ掲げさせて頂きました。全て達成出来れば良いのでしょうかけれども、なかなか難しい部分があると思いますので、ぜひ7番目の「ロータリー賞への挑戦」これにはチャレンジしていただきたいなと思います。マイロータリーから入っていただいて、25項目のうち13項目を達成できれば、ロータリー賞をもらえますので、ぜひ挑戦してみて下さい。退会防止と会員増強、これも大事で、会員基盤の15%を女性会員にとありますけれども、ここは女性会員が65%くらいですか？素晴らしいと思います。

ロータリーの本質とは、親睦と奉仕を積み重ね信頼関係を構築する、職業倫理を高め、役立つ仕事は価値あるものと認識し、職業を通じて社会に貢献する、ロータリアン1人1人が家庭を愛し、仕事を愛し、社会を愛し、奉仕の理念を実践する。国際理解を深め、世界的ネットワークを通じて親善・平和を推進する、ロータリー活動の主役は1つ1つのクラブであり、1人1人のロータリアンであると、これが基本であると思います。ロータリーの第一の目的は、心を育てる、奉仕の実践をすることでロータリーは人を育て、我々自身を成長させてくれます。ロータリアンがいかに生きるかという生活態度、それが職業奉仕です。

ロータリーは奉仕団体ではなく、奉仕する者が集まる団体である、よくこの言葉を聞くと思います。先輩方のロータリアンは、皆こういう形で奉仕活動をしておりました。あらゆるロータリー活動は、親睦と奉仕が絶妙に調和し、その積み重ねが最高の人生と導いてくれる、ロータリーの奉仕とは基本的に職業奉仕であり社会奉仕である、これはもうずっと変わらないと思います。職業奉仕・青少年奉仕・親睦・ロータリー哲学・自己研鑽、これらを中心にロータリー活動をしてまいりました。近年に至っては、奉仕プロジェクト・寄付増進・会員増強・公共イメージ向上これらを中心にRIからの指示でクラブ活動をしてきたのではないかと思います。このバランスがとても大事ではないのかなと思います。

ロータリーは親睦と奉仕で家族・仕事関係・地域の人々・世界の人々との繋がりが生まれるのではないか、親睦と奉仕を中心に、公平性・多様性・リーダーシップが大事であります。皆さんで奉仕を実践していきましょう、もし今でなかつたらいつやるのか、もし私じゃなかつたら誰がやるのか、こういう心構えでクラブ運営をしていただければなと思っています。何よりも出来立てのクラブですけれども、クラブの特徴を知ることが大事かなと思っております。会員にアンケートを実施し、会員の満足度、チェックは是非とも実施してください。これもマイロータリーに入っておりますのでぜひダウンロードしてやってみてください。

私の教訓ですけれども、何もしなければ何も悩まなくてもすむかもしれないが、何もしなければ石になってしまう。その思いしか発展しないし、夢を語ること、そこに住む人の意識以上にことは発展しないし何事も夢を持たなければ実現しない、自分のしたことは必ず自分に返ってきます。乗り越えなければ成功しないし、人生今日も始まり、よそはよそ、うちはうち、こういう気持ちでやっていければなと思っております。

これは天皇陛下が述べられた言葉です。「他者の置かれた状況にも想像力を働かせ、異なる立場にあつたり異なる考え方を持つ人々にも配慮し尊重し合える寛容な社会が築かれていくことを願っております。」これはもっとも DEI に勝る言葉ではないかなと思ってお話しさせていただきました。本当に素晴らしい言葉だなと思っております。変えられることは変える努力をしましょう、変えられないことはこのまま受け入れましょう。そして起きてしまったことを嘆いているよりも、これから出来ることを皆で一緒に考えてやっていきましょう、ということで今日のお話を終わりたいと思います。ありがとうございました。

### ビジターの方々からのご挨拶

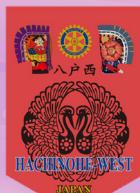


ガバナーエレクト（八戸 RC：築館智大様）、ガバナー補佐（八戸北 RC：久保隆明様）、地区幹事長（むつ RC：藤野芳孝様）よりご挨拶を頂きました。誌面の都合上、割愛させて頂きました。ご了承ください。



ガバナー公式訪問 集合写真

※写真撮影の際のみマスクを外しております



- ・会長 小林 周子
- ・幹事 畠山 徳陽
- ・副会長 蛇口 和憲
- ・事務局 (株)STARS 内

・例会場 八戸プラザホテル TEL: 0178-44-3123

・例会日 木曜日(月3回) 第1・3 12:30~

第2 18:30~

〒031-0072 八戸市城下4丁目9-5

TEL: 0178-51-8642 MAIL: hwrc@stars.aomori.jp